



新館 恐竜館の紹介 (3)

「カムイサウルスが眠る海」



カムイサウルス
実物化石床下
展示

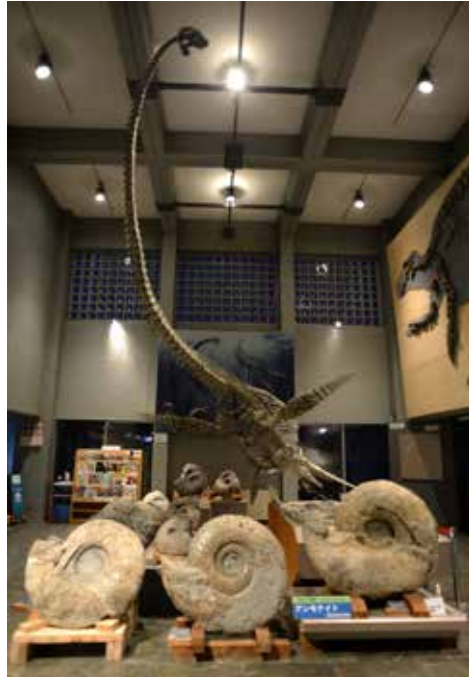


海の地層から発見された陸生カメ アノマロケリス (左) とカムイサウルス産地から採集されたアンモナイトなど化石 (右)

恐竜館には床下に恐竜カムイサウルス (*Kamuysaurus japonicus*) の実物化石が展示されています。水族館でも使われているような厚さ 85 mm のアクリル板を使って、アクリルの上に立って足元の化石を見ることができるようになっています。

カムイサウルスの化石は海でたまった地層から発見されたので、海の青色をイメージした照明で展示されています。周りには、カムイサウルスと一緒に発見されたアンモナイトや二枚貝などの化石が展示されています。また、カムイサウルスよりも少し古い時代 (白亜紀セノマニアン期、およそ1億年前) の陸の生物で、海に流されて化石となった陸生カメ アノマロケリス (*Anomalocherlys angulata* むかわ町穂別産) の実物化石も展示されています。

2025 年度の主なクリーニング資料（2）



2023 年に採集した大型アンモナイト（[ホッピーだより No.468](#) 1 ページ右下で紹介）。80 cm のものは博物館ホール手前（写真右）に展示しています。

しりょう
アンモ・キャニオン（[ホッピーだより No.498](#)）およびクビナガリュウ首長竜ホベツアラキリュウ下の大型アンモナイト展示のために、2023 年に道北で採集した大型アンモナイト メソプゾシア *Mesopuzosia* をクリーニングしました。2 点とも同じ露頭（ガケ）の同一層準から採集したもので、種内変異を調べるなど、今後の研究にも期待できます。

なお、これら標本が産出した地質時代はチューロニアン期後期のものとしていましたが、再調査の結果、コニアシアン期のものであることが判明しました。

学芸員 西村智弘

AOAO SAPPORO での穂別恐竜博紹介



札幌のまちなかの水族館 AOAO SAPPORO (<https://aoao-sapporo.blue/>) で、「出張！むかわ町穂別恐竜博物館 "Dinosaur Wall"」の常設展示が始まりました。鳥とトカゲと恐竜を見比べてその共通点や違いを体感できる展示で、当館やカムイサウルスについても紹介されています。

穂別恐竜博物館

開館時間 9:30 ~ 17:00
(最終入館 16:30)

観覧料	一般 (高校生~)	小・中学生
一日券	600 円	300 円
年間券	1,500 円	800 円

小学生未満：無料
むかわ町の小学生～高校生：無料

2026年 9月

日	月	火	水	木	金	土
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

2026年 10月

日	月	火	水	木	金	土
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

休館日 町民無料観覧日

